

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和2年度)

調査表

施設名	県立聴覚障害者センター
指定管理者	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 障がい福祉課

1 施設利用状況

指 標	R2	R1	H30	増減理由等
研修室	651	1,849	1,553	新型コロナウイルス感染防止対策に伴うセンター予定行事や講習会の中止により、施設利用者が大幅に減少した。
試写室	552	1,248	1,968	
交流ホール	1,061	2,326	2,466	
談話コーナー	139	177	276	
合 計	2,403	5,600	6,263	
コ メ ン ト	新型コロナウイルスの影響に伴い、施設で行われる行事や講習会の中止等が続いたため、利用者が減少している状況。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R2	R1	H30	支 出	R2	R1	H30
指定管理料	25,933	25,934	25,462	人件費	23,500	23,207	23,063
受取利息収入				消耗器具備品費	291	648	286
				水道光熱費	911	931	936
				研修研究費	0	137	161
				修繕費	315	35	81
				保険料	10	10	10
				その他	906	966	925
合 計(①)	25,933	25,934	25,462	合 計(②)	25,933	25,934	25,462
収支差額(①-②)	0	0	0				
コ メ ン ト	修繕費の増加については、交流ホール、研修室、試写室のLAN工事に係るもの						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和2年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持 管理 業務	清 掃	日常清掃、定期清掃(月末)、特別清掃(年末)、床洗浄塗布(外部委託による 年2回)
	保守・点検	(1) 県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに①建物・備品等②消防設備③電気設備④整理整頓・衛生維持の点検を毎月末に行った。
	警 備	3階消費生活センターによる夜間・休日の常駐警備
	修 繕	消費生活センターにより、トイレの自動式蛇口の取り付け工事が実施された(3/10)
	備品等管理	備品台帳に基づく点検(年1回) 管理台帳整備
	安全対策	安全点検管理表による点検(月末)、危機管理規程の整備、電光掲示板を利用した避難訓練
	その他	廊下に緊急連絡網及び自衛消防隊の組織、任務表を掲示
企画 運 営 業務	サービス提供 体制整備	①みやざき聴障センターだよりの発行 ②センターHPに研修会等の案内を随時掲載 ③満足度調査(11月1日～12月28日) ④リモート回線(Zoom)を利用したオンデマンド研修・講習会、リモート試験の実施
	イベント等 ソフト面充実	・令和2年度のイベント等は新型コロナ感染拡大の影響により、軒並み中止や延期となった。 ・リモート(Zoom)を利用した研修会の実施など、コロナ禍におけるイベント等開催を工夫した。
	施設設備等 ハード面充実	・空調切替作業実施(11/22) ・交流ホール、研修室、試写室のLAN工事を実施(12/2) ・飛沫パーテーションの設置 ・消防機器点検の実施(2/1) ・消費生活センターにより、各部屋の害虫駆除作業が実施された。(3/17)
	その他	新型コロナ感染拡大防止において、研修室と試写室の定員数を一時期制限するなどの対策を講じた。
管理運営体制	新型コロナ感染拡大防止策として、パーテーション設置や検温、ドア・机等の消毒を実施	
コ メ ン ト	協定書等に基づき、適正な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(11月1日～12月28日) 回答数 92名
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
交流ホール・研修室等の機能・設備について	照明を点等後にチカチカするといった意見があり、当面の対応としては早めに点灯しておくなどで対応。今後、照明のLED化も検討してはとの意見も出ている。
センター職員の対応について	「良い」「まあまあ良い」を合わせると9割が好意的な評価となっている。マナー化や礼儀の欠如などないよう、常に心がけて応対する姿勢を今後も維持する。
新型コロナウイルス感染防止対策について	「良い」「まあまあ良い」を合わせると約98%が満足している結果となったが、除菌シートの設置要望が別途有り。利用状況を考慮して感染防止対策を進めていく。

5 総合評価

評価コメント	満足度調査の結果概ね9割の方が満足した、まあまあ満足したとの回答を得ており管理運営においては良好と判断する。その他、協定書に基づき、適正な管理が図られている。
今後の課題と対応	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うイベントの中止等が発生しており、リモートで開催できる研修会や催し物など、コロナ禍でもセンター利用を低下させない工夫が当面は必要になる。